

二十歳のつどい

岡町民会館 ☎028(677)0009

1月7日(日)、町民会館で二十歳のつどいが行われました。芳賀町の二十歳は、平成15年4月2日生まれから平成16年4月1日生まれの179人です。二十歳のつどいには132人が参加しました。二十歳のつどいの後には同窓会も開かれ、久しぶりに会う旧友や恩師と楽しい時間を過ごしました。二十歳を迎えた皆さん、おめでとうございます。



野澤 昌暉さん

謝辞

お祝いや激励の言葉をいただきました芳賀町長様をはじめ、ご来賓の皆さま、ご臨席いただいた皆さまには、心から感謝申し上げます。私たちが今日という節目を迎えることができたのは、いつもそばで支えてくれた家族、熱心にご指導くださった恩師の皆さま、温かく見守ってくださった地域の皆さま、そして切磋琢磨し互いに助け合ってきた仲間のおかげです。心から感謝しています。恩師や懐かしい仲間と久しぶりに語らうことができ、一瞬で時間が戻ったようで、とてもうれしく貴重な時間となりました。

令和5年8月26日には、次世代型路面電車LRTが芳賀町と宇都宮市の間で開業しました。それにより、栃木県の中心地である宇都宮市との結びつきが一層強くなり、ますます芳賀町が発展してゆくと考えられます。私もたびたび利用させていただき、その便利さに感謝しています。また、11月15日には予想よりも早く累計利用者数が100万人を超えるなど、その利便性が証明されています。

私たちが今後生きていく社会は「Society5.0・超スマート社会」と言われ、人間と人工知能が共存する豊かなものだと考えられます。しかし一方では、価値観が複雑に多様化し、予測困難な時代になるとも言われています。そのような中でより豊かな未来を築いていくために、未来を担う私たち一人一人が、問題を解決する力をしっかりと身に付けていきたいと思えます。

今後、大切な故郷である芳賀町の発展に直接的・間接的に貢献できるよう、学業や勤労に一層精進して参ります。

20歳を迎えたとはいえ、まだまだ未熟な私たちですので、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



黒崎 海秀さん

二十歳の主張

私たちは二十歳という節目の年を迎え、再び一堂に会することができました。旧友たちとの再会を大変嬉しく思います。そして、私たちをここまで育ててくれた家族、見守って下さった地域の皆さまに、この場を借りて感謝申し上げます。

私は今、大学に通って勉学に励んでいます。そして東京で一人暮らしをしています。自分で契約書に判を押すことがあります。アルバイトもしています。その仕事には責任が伴います。少しずつ、自分が大人になっていく感じがして、それが嬉しい反面、不安でもあります。私が見てきた大人は、今の自分よりもずっと余裕があり、頼りがいのある人たちでした。自分もあんな大人になれるのだろうか。将来への不安が黒い波となって、私を飲み込もうとしてくるのです。

しかしある日、街道に一輪のスミレが咲いているのを見ました。春もいよいよ終わるとい季節で、周りには雑草が生い茂る中、そのスミレはたった一人で、凛々しく、咲いていました。その姿に私は背中を押されました。どんなに困難な状況でも、強い意志をもって立ち向かい、自分らしくある姿勢を、スミレに教わったのです。

大人になるというのは、今の私たちが想像するよりも遥かに過酷で、大変なことなのかもしれません。世界も大きく変わっていくことでしょう。そんな中、自分は立派に生きていけるのか。将来持つであろう部下や子どもに、頼れる背中を見せられるのか。今でも不安になります。しかし私は、不安な時こそ強い思いを持って、逆境に立ち向かおうと決意しました。何年先になるか分かりませんが、いつかこの町に帰ってきて、お世話になった皆さまに「立派な大人になれたよ」と言えるよう、一瞬一瞬を全力で生きていこうと思えます。

まだまだ未熟な私たちですが、どうか今後とも温かく見守って下さいますよう、お願い申し上げます。



3年5組



3年1組



3年2組



3年3組



3年4組